

環境委員会質疑

令和3年3月9日 串田誠一

1. 所信の中に動物関連の記述がないのはなぜか
2. 農水と環境の連携（令和2年10月23日）アニマルウェルフェア記載なし
3. 環境大臣としてバッテリーケージはアニマルウェルフェアの観点で妥当であると考えるか
4. 環境省が農水省、厚労省との連携文書にAWを記載すべきではないか
5. 所信は地球温暖化に関連してカーボンニュートラルに重点が置かれているが畜産業にも大きく影響しているという認識はあるか
6. 犬や猫と暮らす国民が非常に増えている。数値規制が今年施行されるという意義は大きいと思うが大臣としての意気込みを問う
7. 帝王切開について 「第6回動物の適正な飼養監理方法等に関する検討会」に「繁殖に係る専門家ヒアリング結果」として2人の教授の意見が添付されている。双方を参考にしたのか。
8. 筒井教授は「帝王切開と受胎率の相関はない。制限するかどうかは感情の問題。犬は子宮の構造が丈夫な動物であり、帝王切開に耐えられる」とし、津曲教授は「諸外国の例を参考にするのがよい。人と同じにしているのではないか。何度も帝王切開すると癒着の可能性が高くなる。自分は臨床で帝王切開をした経験がないため、実際何回程度の帝王切開が癒着に影響するかは、帝王切開の経験がある臨床獣医師に聞いてみるべき」としている。臨床獣医師に聞いたのか。その結果はどうなったか。
9. 筒井教授は全国ブリーダー協会の名誉教授である。国民からすれば一方の意見だけを採用することに疑念を持つのは当然ではないか。
10. 環境大臣として帝王切開に回数制限をしないことはアニマルウェルフェアに合致していると思うか。
11. 早期に引退して譲渡されやすいようにするという大臣の発言に相反するのではないか。
12. オスの引退時期が定められなかった。短い犬猫の生存期間にずっと繁殖のためにケージに入れられているということに大臣としての感想を問う。
13. 猫の離乳前のミルクボランティアへの支援 保護犬、保護猫の譲渡支援

パネル、資料なし 要旨対応 答弁者 小泉環境大臣